



都内企業の景況感

— 第122回企業動向調査結果 平成27年10月実施 —



◎ 都内中小企業の景況は回復、先行きも改善の見通し。

1. 都内中小企業の景況をみると、自社業況判断DI*が、前回の-2.3から今回11.3へと13.6ポイント上昇し、回復している。先行きについて同DI*は14.7へと上昇する見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	-2.3	⇒	11.3 (前回予想 5.5)	⇒	14.7
2. 売上高DI*は、前回の-5.9から今回2.7へと8.6ポイント上昇、経常利益DI*は、-4.9から3.3へ8.2ポイント上昇した。先行きについて売上高DI*、経常利益DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	-5.9	⇒	2.7 (前回予想 0.4)	⇒	5.2
	経常利益 DI*	-4.9	⇒	3.3 (前回予想 -3.1)	⇒	4.5
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回5.3と0.1ポイント上昇、仕入れ価格DIは、17.1と10.6ポイント低下した。先行きは、販売価格DIは低下、仕入れ価格DIは上昇する見通し。	販売価格 DI	5.2	⇒	5.3	⇒	4.6
	仕入れ価格 DI	27.7	⇒	17.1	⇒	20.8
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の6.6から今回8.8へと2.2ポイント上昇し、運転資金需要DI*は前回の8.4から今回7.6へと0.8ポイント低下した。先行きは、両DI*ともに上昇する見通し。	製造業製品在庫 DI*	-9.3	⇒	-11.1	⇒	...
	設備資金需要 DI*	6.6	⇒	8.8	⇒	15.3
5. 金融機関借入難易感DIは、今回22.4と1.4ポイント低下、資金繰りDIは、今回5.0と4.8ポイント低下した。	運転資金需要 DI*	8.4	⇒	7.6	⇒	14.0
	金融機関借入 難易感 DI	23.8	⇒	22.4	⇒	...
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェア16.8%で、前回同様第1位となった。第2位は、前回と同じく「人材難」が13.5%、第3位は、前回5位の「労働力不足・求人難」で13.2%だった。第4位は、前回と同じく「売上不振」で12.7%、第5位は、「原材料高・仕入価格高」で9.0%だった。第6位は、「人件費等経費の増加」5.9%、第7位は、「取引先からの値引き要請」5.6%、第8位は、「合理化不足」5.1%であった。	資金繰り DI	9.8	⇒	5.0	⇒	...
	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	16.0	⇒	16.8		
	人材難	13.8	⇒	13.5		
	労働力不足・求人難	11.2	⇒	13.2		
	売上不振	12.2	⇒	12.7		
	原材料高・仕入価格高	12.5	⇒	9.0		
	人件費等経費の増加	5.8	⇒	5.9		
	取引先からの値引き要請	6.4	⇒	5.6		
	合理化不足	2.9	⇒	5.1		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上げ*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回-1.6、今回6.5、先行き9.9)で判断したものの。前回は「うす曇り」、今回は「晴れ時々曇り」、先行きは「晴れ時々曇り」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。

東京都民銀行(頭取:柿崎 昭裕)は、東京圏の中小・中堅企業を主な対象に年3回、景況調査を実施しております。このほど、平成27年7月～平成27年10月の実績見込みによる前年同時期との比較、および調査時点以降6カ月の見通しについての「第122回企業動向調査」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

今回調査の概要:

1. 調査対象企業数	936	3. 回答企業の構成比		
2. 回答企業数	303		(件数)	(%構成比)
	(回収率 32.4%)	製造業	126	41.6
		非製造業	177	58.4
		合計	303	100.0
		従業員 30人以下	132	43.6
		従業員 31～99人	98	32.3
		従業員 100人以上	73	24.1

1. 自社業況判断、売上、利益

(1) 自社業況判断DI

都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が、前回の-2.3から今回11.3と、13.6ポイント上昇してプラス転換し、回復している。

業種別で見ると、製造業のDI*は 11.8 と 23.4 ポイント上昇、非製造業の DI*は 11.1 と 7.9 ポイント上昇した。

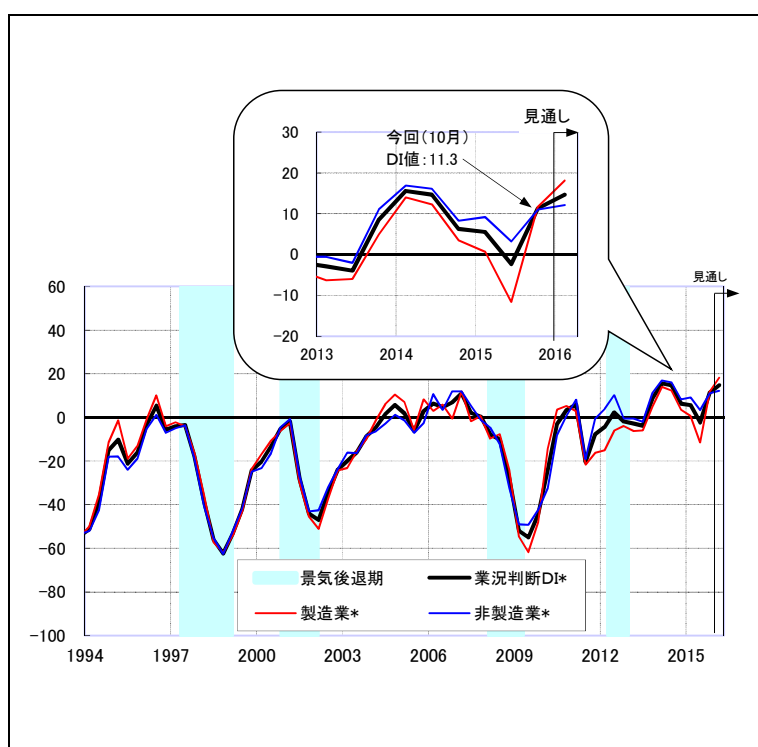
製造業の個別 14 業種のなかでは、化学など 10 業種のDIが上昇した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、小売など 2 業種のDIが上昇した。

先行き(今後 6 カ月間)については、製造業、非製造業ともに上昇して、全産業の DI*は 14.7 とさらに改善する見通し。

(図1)業況判断DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	5.6	-2.3	11.3	14.7
製造業	0.7	-11.6	11.8	18.2
非製造業	9.2	3.2	11.1	12.2



(2) 売上高DI

売上高DI*は、前回の-5.9 から今回 2.7 へとプラス転換し、8.6 ポイント上昇した。

業種別で見ると、製造業のDI*は今回 5.1 と前回から 18.7 ポイント上昇、非製造業のDI*は 1.1 と 2.0 ポイント上昇した。

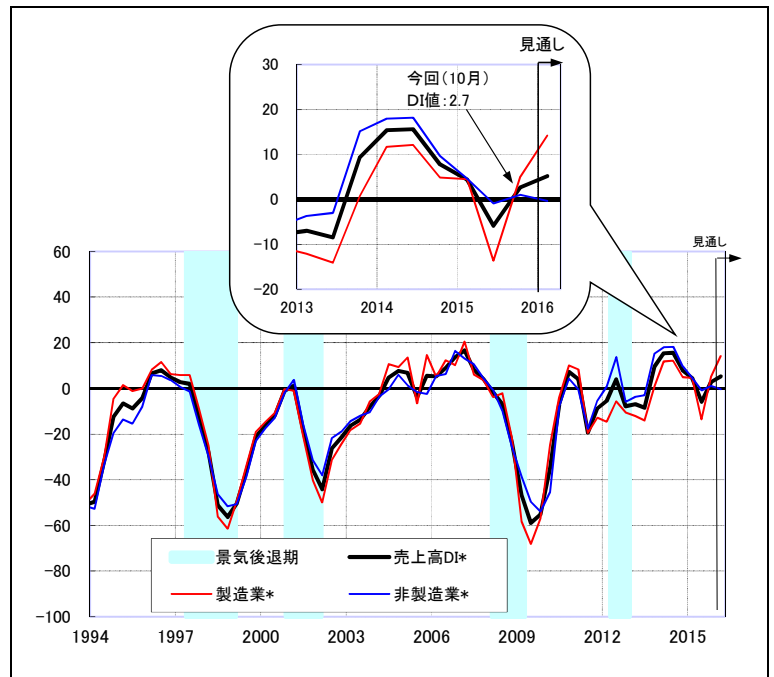
製造業の個別14業種のなかでは、化学など9業種のDIが上昇した。

非製造業の個別7業種のなかでは、運輸など2業種のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)については、製造業は上昇、非製造業は低下し、全産業のDI*は5.2と上昇する見通し。

(図2)売上高DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	4.4	-5.9	2.7	5.2
製造業	4.5	-13.6	5.1	14.2
非製造業	4.7	-0.9	1.1	-0.3



(3) 経常利益DI

経常利益DI*は、今回 3.3 と、前回の-4.9 からプラス転換し、8.2 ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDI*は今回 2.9 と前回から 15.3 ポイント上昇、非製造業のDI*は今回 3.6 と 4.0 ポイント上昇した。

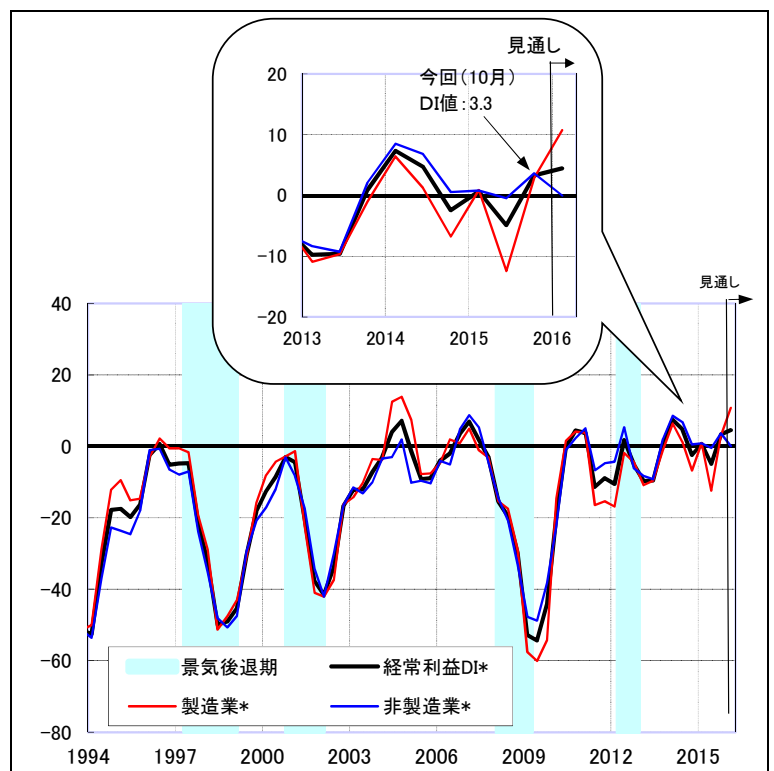
製造業の個別14業種のなかでは、化学など9業種のDIが上昇した。

非製造業の個別業種のなかでは、建設のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)DI*は、製造業は上昇、非製造業は低下し、全産業のDI*は4.5と上昇する見通し。

(図3)経常利益DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	0.7	-4.9	3.3	4.5
製造業	0.9	-12.4	2.9	10.8
非製造業	0.8	-0.4	3.6	0.0



2. その他の指標

(4) 販売価格

販売価格DIは今回 5.3 で、と前回の 5.2 からほぼ横ばいだった。

業種別では、製造業のDIは-0.8 と前回から 0.8 ポイント上昇、非製造業のDIは 9.8 とほぼ横ばいだった。

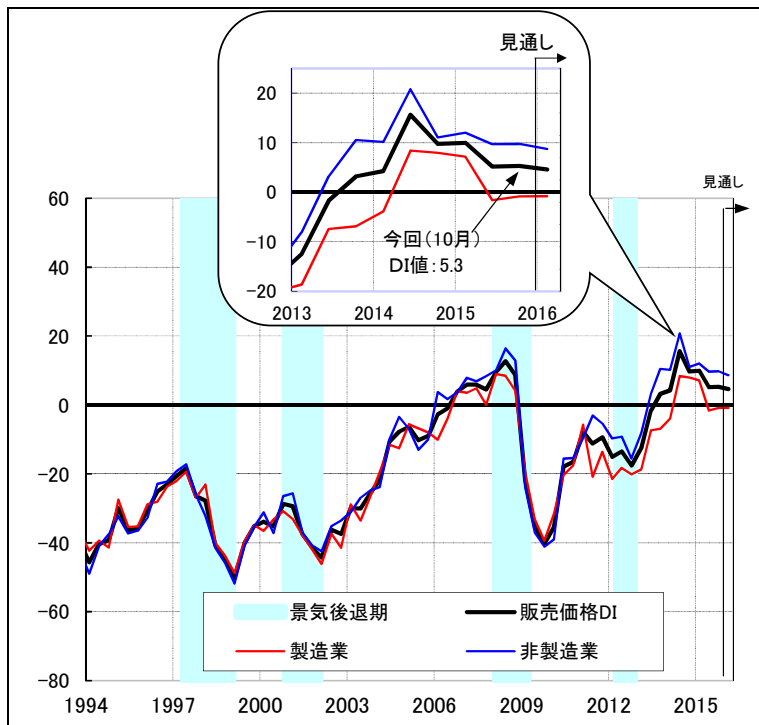
製造業の個別 14 業種のなかでは、一般機械など 7 業種のDIが上昇した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、建設など 4 業種のDIが上昇した。

先行きDIは、製造業は横ばい、非製造業は低下する見通し。

(図4) 販売価格DIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	10.0	5.2	5.3	4.6
製造業	7.1	-1.6	-0.8	-0.8
非製造業	12.0	9.7	9.8	8.7



(5) 仕入れ価格

仕入れ価格DIは、今回 17.1 と前回の 27.7 から 10.6 ポイント低下した。

業種別では、製造業のDIは今回 19.2 と前回より 12.3 ポイント低下、非製造業のDIは 15.5 と 9.6 ポイント低下した。

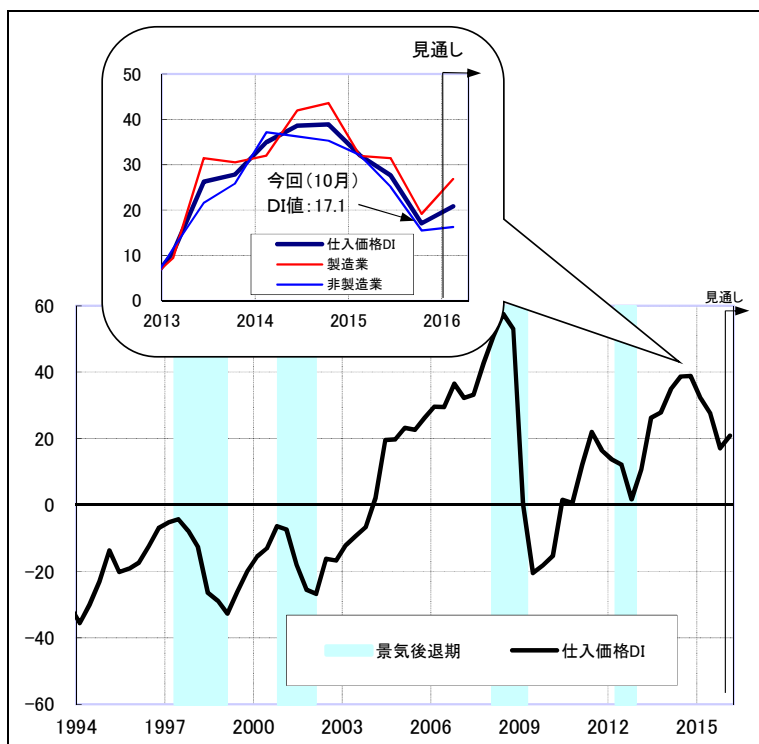
製造業の個別 14 業種のなかでは、金属製品など 8 業種のDIが低下した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、卸売など 5 業種のDIが低下した。

先行きDIは、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図5) 仕入れ価格DIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	32.1	27.7	17.1	20.8
製造業	32.0	31.5	19.2	26.8
非製造業	32.2	25.1	15.5	16.3



(6) 製商品在庫

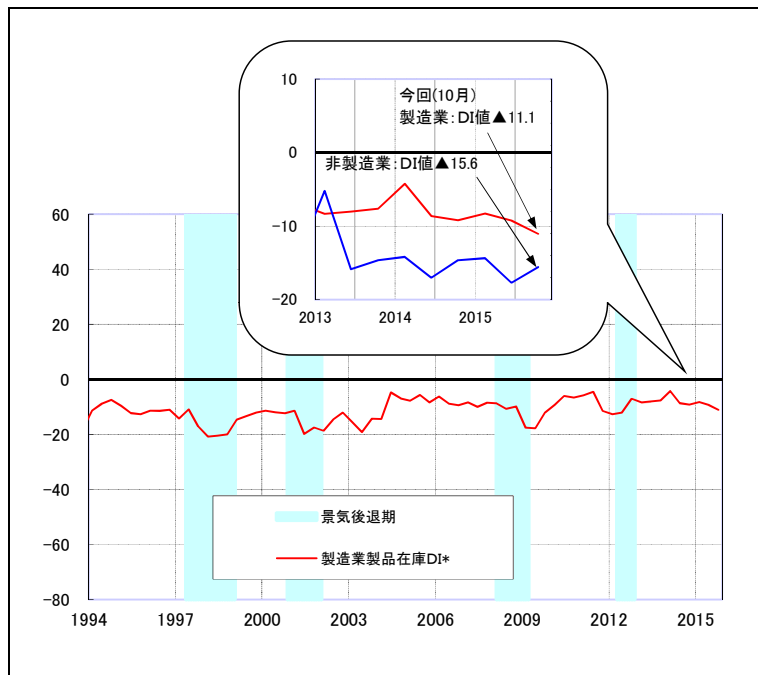
製造業製品在庫DI*は、今回-11.1 と前回の-9.3 から 1.8 ポイント低下、非製造業商品在庫DI*は、-15.6と前回の-17.7から2.1ポイント上昇した。

(注)DI値*は、「不足」-「過剰」

(注)「非製造業」は、卸売業と小売業の合計

(図6) 製品在庫DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)
製造業	-8.3	-9.3	-11.1
非製造業	-14.4	-17.7	-15.6



(7) 設備資金需要

設備資金需要DI*は、今回 8.8 と前回から 2.2 ポイント上昇した。

業種別では、製造業DI*は今回 12.2と前回より 1.4 ポイント上昇、非製造業 DI*は 6.1 と 3.4 ポイント上昇した。

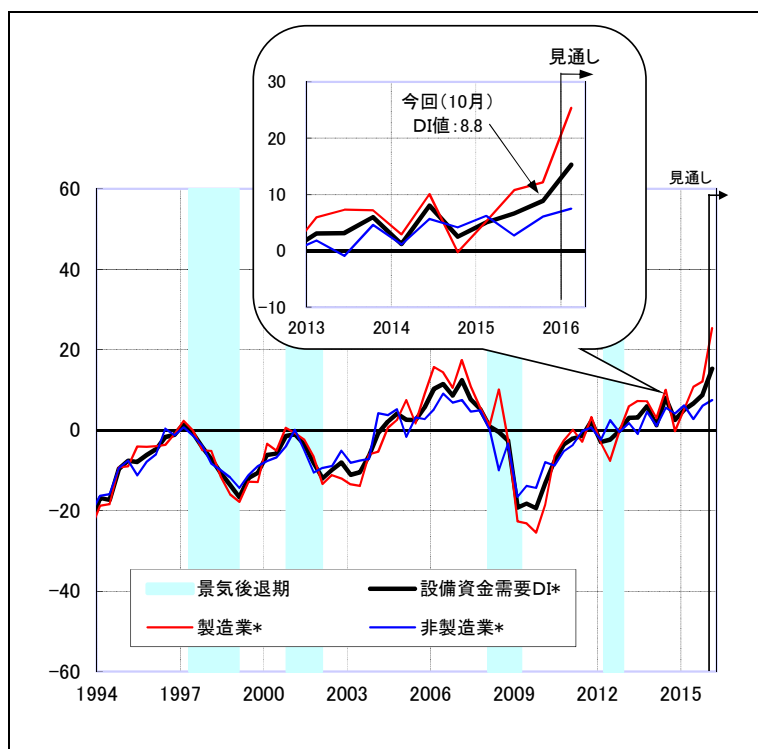
製造業の個別 14 業種のなかでは、化学など 7 業種のDIが上昇した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、卸売など 3 業種のDIが上昇した。

先行きDI*は、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図7) 設備資金需要DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	5.0	6.6	8.8	15.3
製造業	5.2	10.8	12.2	25.4
非製造業	6.2	2.7	6.1	7.5



(8) 運転資金需要

運転資金需要DI*は、今回 7.6 と前回から 0.8 ポイント低下した。

業種別では、製造業DI*は今回 3.7 と前回より 3.5 ポイント低下、非製造業DI*は 9.2 と 0.4 ポイント上昇した。

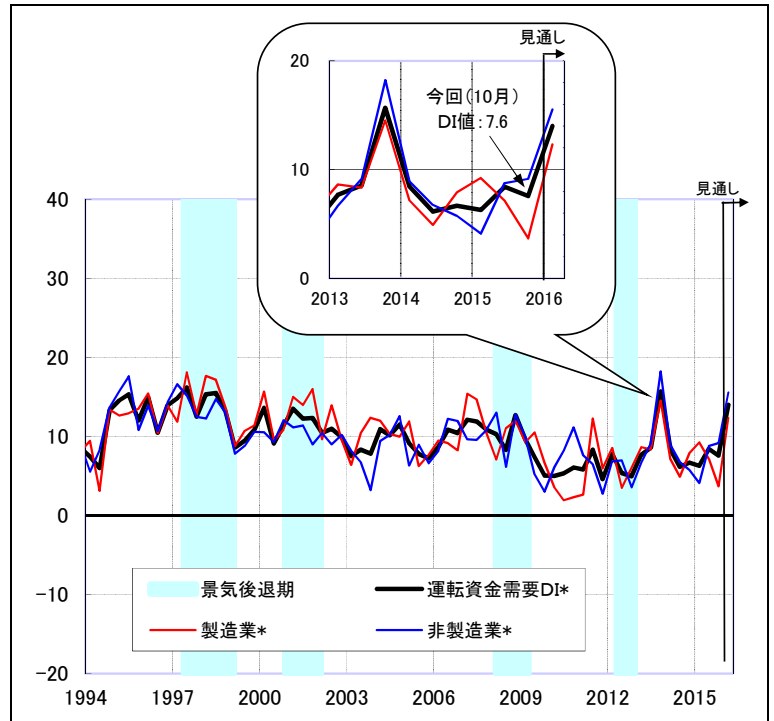
製造業の個別 14 業種のなかでは、紙・紙加工品など 6 業種のDIが低下した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、サービスなど 4 業種のDIが上昇した。

先行きDI*は、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図8) 運転資金需要DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	6.3	8.4	7.6	14.0
製造業	9.2	7.2	3.7	12.3
非製造業	4.1	8.8	9.2	15.5



(9) 金融機関借入難易感

金融機関借入難易感DIは、今回 22.4 で前回よりも 1.4 ポイント低下した。

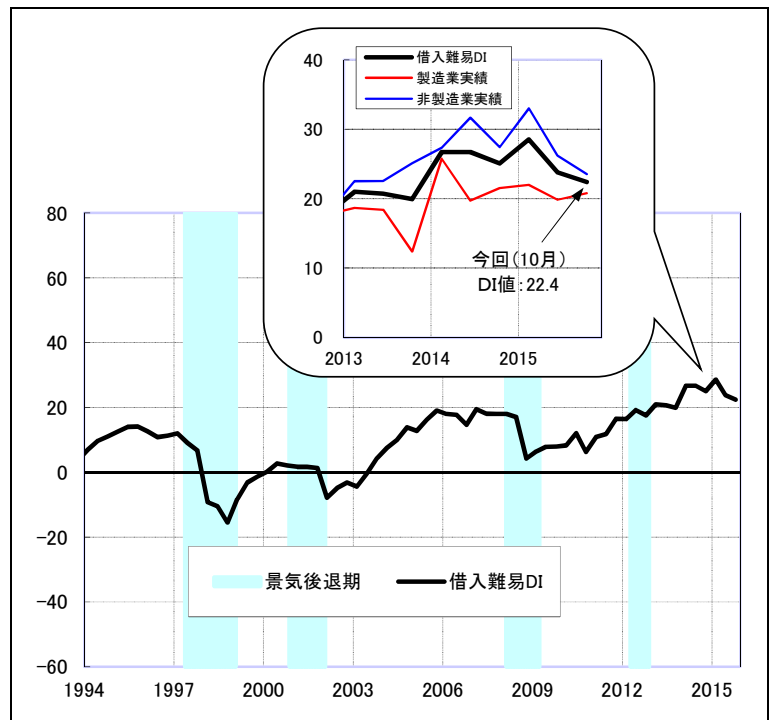
業種別では、製造業のDIは、今回 20.8 で前回から 1.0 ポイント上昇、非製造業は 23.6 と 2.6 ポイント低下した。

製造業のなかでは、金属製品など 6 業種でDIが上昇した。

非製造業の中では、卸売など 3 業種でDIが低下した。

(図9) 金融機関借入難易感DIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)
全産業	28.5	23.8	22.4
製造業	22.0	19.8	20.8
非製造業	33.0	26.2	23.6



(10) 資金繰り

資金繰りDIは今回 5.0 と、前回の 9.8 から 4.8 ポイント低下した。

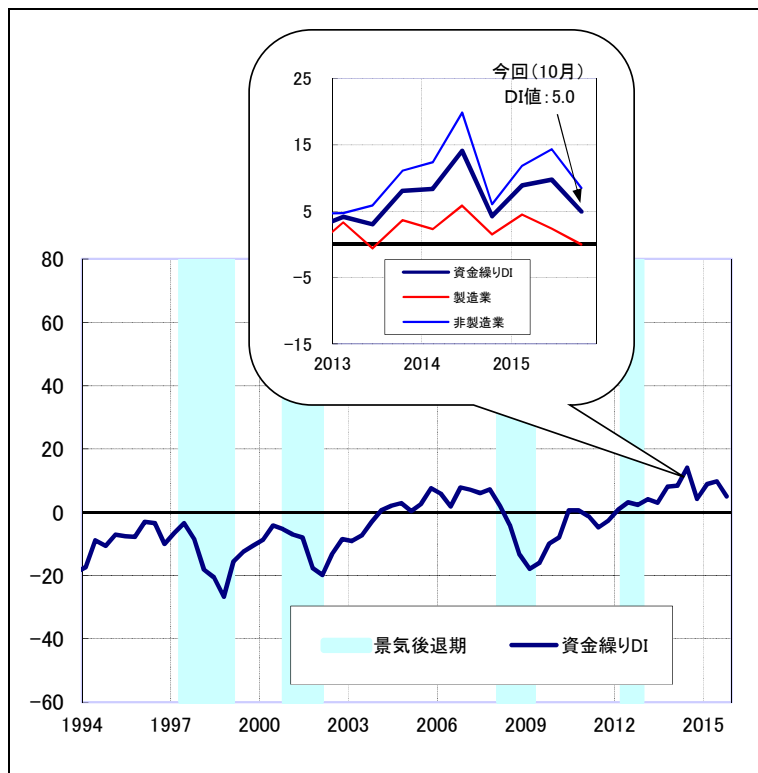
業種別では、製造業のDIは、今回 0.0 と 2.4 ポイント低下、非製造業のDIは、今回 8.5 と 5.9 ポイント低下した。

製造業のなかでは、紙・紙加工品など 6 業種でDIが低下した。

非製造業の中では、情報通信など 6 業種でDIが低下した。

(図10) 資金繰りDIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)
全産業	8.9	9.8	5.0
製造業	4.5	2.4	0.0
非製造業	11.9	14.4	8.5

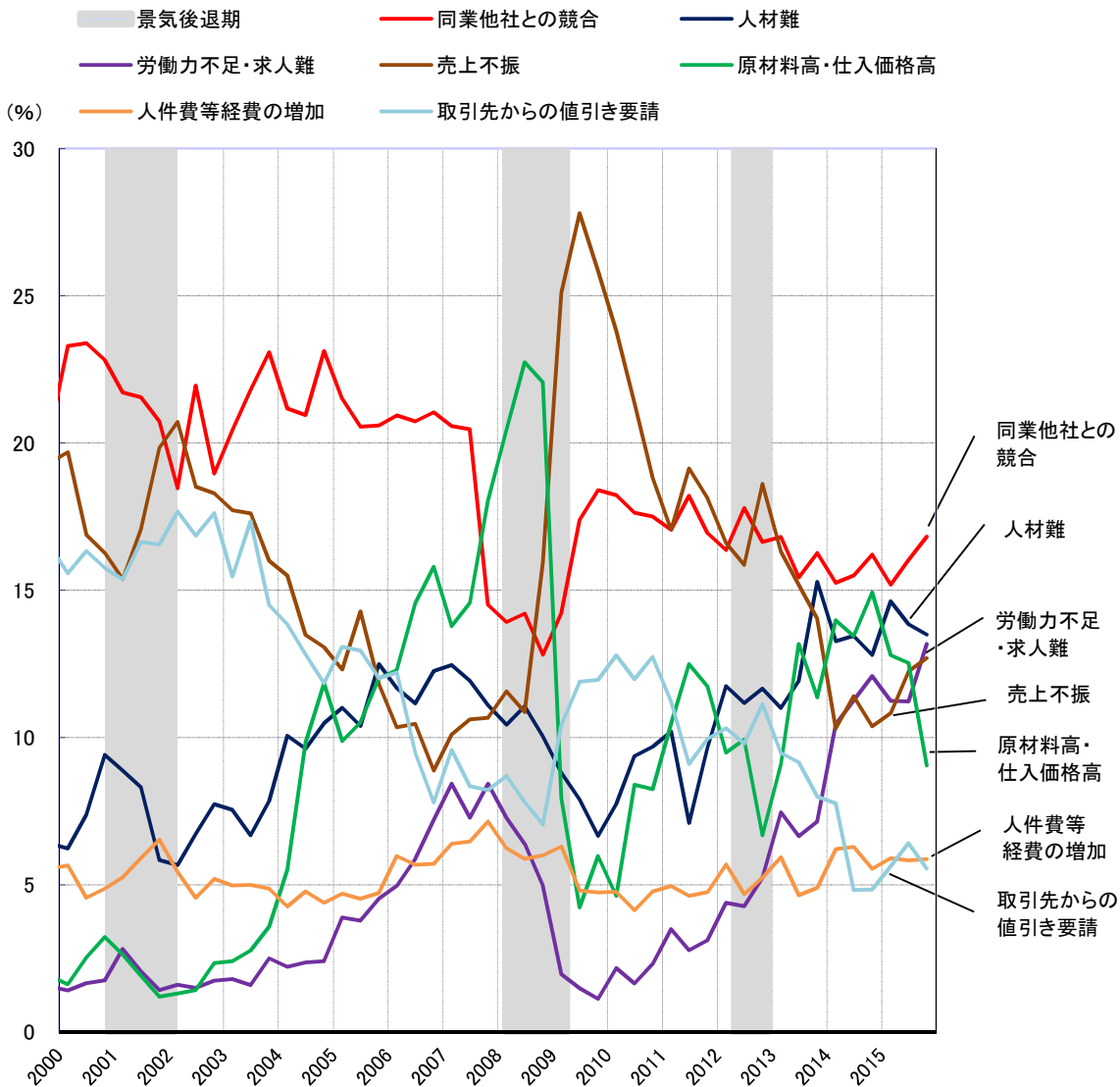


3. 経営上の問題点

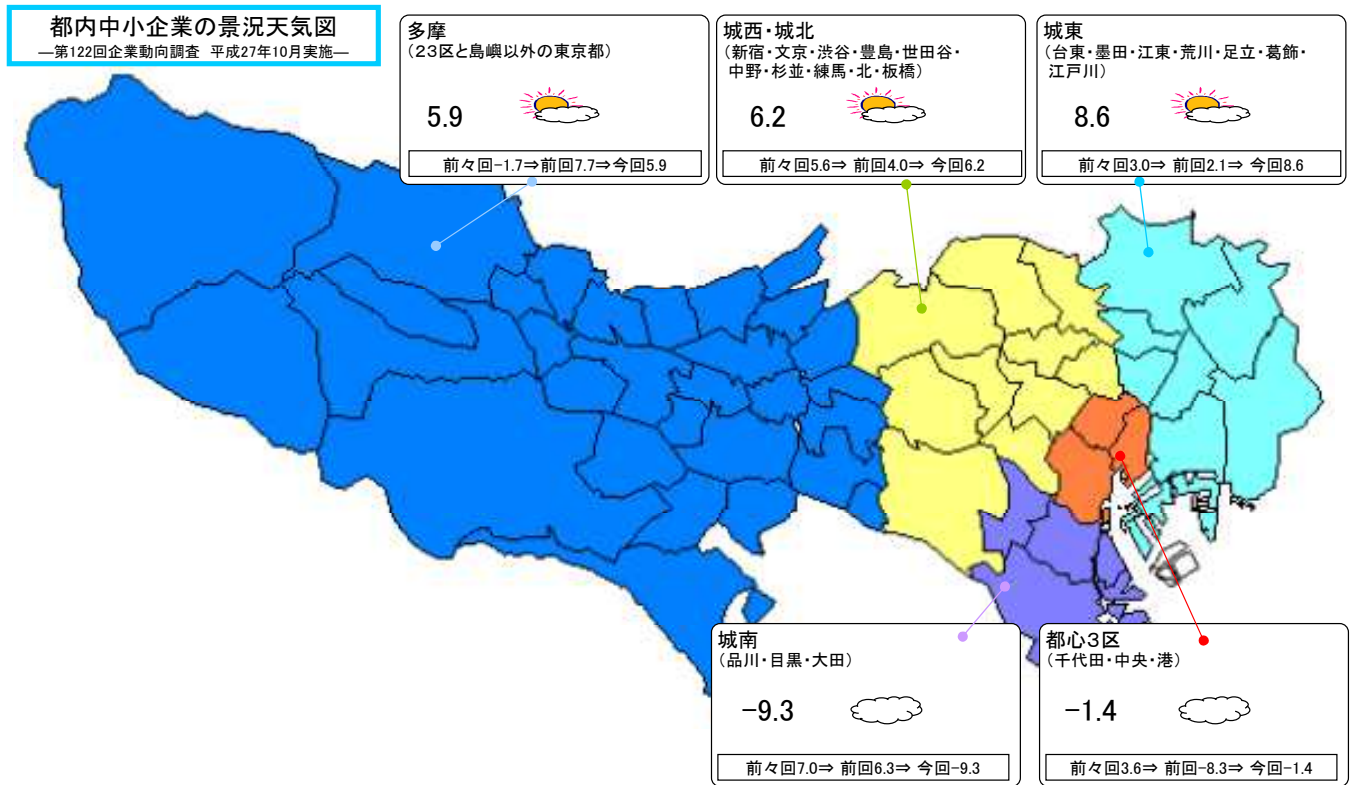
* 下図は、自社の経営上特に障害となっている事項として複数の○印をつけていただいたアンケート回答総数を100%として、それぞれの問題点が全体の何%を占めるか構成比を算出し、2000年～最近時点までをグラフで示したものです。

- 第1位は、前回同様「同業他社との競合」で構成比は16.8%と、前回の16.0%から0.8ポイント増加した。「同業他社との競合」が最大構成比となるのは、9回連続である。
- 第2位は、前回と同じく「人材難」で構成比13.5%と、前回の13.8%から0.3ポイント減少した。
- 第3位は、前回5位の「労働力不足・求人難」で、13.2%と、前回の11.2%から2.0ポイント増加した。
- 第4位は、前回と同じく「売上不振」で、12.7%と前回の12.2%から0.5ポイント増加した。
- 第5位は、前回3位の「原材料高・仕入価格高」で、前回の12.5%から3.5ポイント減少し9.0%となった。
- 第6位は、前回7位の「人件費等経費の増加」で、5.9%と前回の5.8%から0.1ポイント増加した。
- 第7位は、「取引先からの値引き要請」で5.6%であった。

(図11) 経営上特に障害となっている事項。複数回答の%構成比の推移



4. 都内中小企業の景況天気図（参考）



表は、都内経済のアンケート調査に基づいた当行独自のものです。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨

- 上記景況天気図は、第98回(2007年10月)調査より、企業動向調査アンケート票に、所在地の項目を追加したものを利用して、上記6つの地域ごとに、①自社業況判断DI、②売上高DI、③経常利益DI、④設備資金需要DIの原数値を平均した数値を基に判断した、当行独自のものです。

本件に関するお問い合わせ先：
 東京都民銀行 営業開発部
 ホームページ URL <http://www.tominbank.co.jp>
 <担当：(株)とみん経営研究所 大月>
 TEL： 03-(5570)9281(代)